

第9回養老町子ども議会

令和7年11月26日(水) 午後3時より
養老町役場 4階議事堂で開催

教育委員会主催で始まった「子ども議会」も今回で9回目となった。養老町議会と同じような緊張感と臨場感を子どもにも体験してもらいたいと教育委員会より依頼され、第1回目から養老町議会議事堂を使用し開催されている。



高田・東部両中学校の3年1名ずつが議長となり、また、代表13名が議員になり、養老町の課題について自分たちの考えを提案発表した。

高田中学校はクラス毎にテーマを決め、発表した。東部中学校はクラス毎ではなく、個人で課題をあげて学年全体で12のグループに分かれ、そこから選抜し、4つのグループが発表した。生徒たちは、夏休みなどを利用して、ボランティア活動に参加、アンケートの集計現場での調査・分析等をした。議場ではまとめた意見や提案を堂々と発表した。それに対し、町の担当課より現在取り組んでいることを踏まえ、感想を述べた。

中学生の意見・提案

- ・観光マップ
- ・養老町の魅力を発信する
- ・地域交流の活性化
- ・養老公園益踊り大会への参加と資源回収の取り組み
- ・こみを減らそう
- ・ポイ捨てをなくすためにできることは
- ・1人ひとりの防災意識を高め、自分の身は自分で守るまちづくり
- ・安全な養老町をつくる
- ・交通安全意識を高めよう
- ・外国人にも安心安全に暮らせる災害に強いまちづくり
- ・誰もが使える交通手段を目的としてオンデマンドバスの利用



中学生の感想

- ・もっと養老町に貢献できるように進んで行動していきたい。
- ・養老町にはたくさんの課題があり、それを改善するために提案する大切さを学んだ。
- ・町議会がどのように行われているか知ることができて良かった。
- ・提案までの学習、考察の過程、堂々と意見を伝えるようにする強い意志や養老町に対する熱い思いをこれからも大切にしたい。
- ・意見や提案を述べる大切な場所だと感じ、中学生が参加できる議会はとても大切だと思った。
- ・養老町の新たな魅力を見つけないといけない良い機会になった。
- ・町民の一人であることを自覚し、選挙権を持った時も権利を無駄にすることなく自分の考えをしっかり持ち、町の未来に関わっていきたい。

(教育委員会に届いた感想一部抜粋)

子ども議会参加者にインタビュー

高田中学校 代表
3年2組発表表

「外国人も安心に暮らせる災害に強いまちづくり」
(12月12日取材) (敬称略)



高田中学校 代表
高田 侑奈

Q この提案にした理由は？

栗田：養老町で最近外国人をよく見るようになって、養老町に住む人や観光客に安心安全に過ごしてほしいと思ったからです。

Q 難しかったことは？

安田：難しかったというより工夫したのですが、色々な意見を聞くために、幅広い年齢層の方々にアンケートを取るため、その質問内容を工夫しました。

栗田：はい、英語と韓国語と中国語を調べて作りました。

Q 外国人にもわかるように、ということだったけれど、自分自身、何か考えることはありましたか？

栗田：外国人向けの防災について考え、ポスターなどを作成しながら、自分たちも防災について確かめることができました。



高田中学校 代表
高田 晴輝

栗田：はい、英語と韓国語と中国語を調べて作りました。

Q 議長をやられてどうでしたか？

栗田：机の上に台本が置いてあっても、一番上の席なので緊張しました。台本を何度も見て、スムーズに進められるよう、しっかりと責任をもって頑張りました。

Q 議会が始まる前は緊張してないと話してたけど？

島：進行は台本があるので、実はあんまり緊張してなかった。最後の感想は自分の考えなので、めちゃくちゃ緊張しました。そのあとの新聞社のインタビューが一番緊張しました。



高田中学校 代表
高田 悠衣佳

Q また機会があったら、ああいう所(議場)でやってみたいですか？

3人共に首を横に振る。

― 正副委員長 後記 ―
生徒の皆さんが住みよい町にするために、地域の課題を見つけ、またそれを解決するために、自発的に関わろうとする意欲や実践力が現れていると感じました。より良い養老町にしたいという気持ちが発表に出ていて、大変良かったです。この議場で発表した経験はこれからの社会に役に立つと思います。

東部中学校 代表
「観光マップ」養老町の魅力を発信

「安全な養老町をつくる」
(12月17日取材) (敬称略)

Q 苦労した点や工夫した点は？

木場：「安全な町を作ろう」で全校にアンケートを取り、そのアンケートをまとめて実際の危険な道路を見に行くまでの流れを作るのがとても難しかったです。



東部中学校 代表
木場 奏衣

Q 何所か危険な道があったけれど、どうやって見に行かれたの？

木場：同じグループで各地区に分かれて、実際に道路の状況を見に行きました。

Q 観光マップで苦労した点は？

美川：観光について、最初は「肉まつり」に行き、やりたいことがあったのですが、養老町との連携がとれていないと大変なことが分かり、自分たちでできることを探したりするのが大変でした。



東部中学校 代表
美川 雄志郎

Q 子ども議会が終わって、自分の気持ちに変化はありましたか？

寺倉：議長としてみんながしっかりと胸を張って意見が言えるようになりました。普段の議会でも真剣に考えて決められているのだと感じました。もっと養老町について詳しく知らなくてはと思ったし、日々責任をもつて考えていかなければと思っています。



東部中学校 代表
寺倉 桔平

Q 子ども議会が終わってもっとこうすれば良かったと思うことはありますか？

木場：達成感が大きくて、後悔という気持ちはなかったです。

Q 美川：養老町の予算がどれだけ使われているのかも調べていたら、提案がしやすかったかもしれないと思いました。

(笑い)

Q 議長席に座った感じはどうでしたか？

予算まで考えていただいて、議員になってもえれば、ね？

Q 議場はどんな場所でしたか？教室や体育館で話すのは違う？

3人：違う違う、全然違う。